

(様式)育児に関するアンケート集計結果

企業等の名称:

アンケート対象者数:		名
うち回収数:		名
回収率:		%

アンケート実施日

回答数	割合
-----	----

I 「育児・介護休業法」について

問1 あなたは、令和4年4月1日以降、改正育児・介護休業法において①～⑧の新たな措置が設置されたことを知っていましたか。【いずれかに○】

①「産後パパ育休(出生時育児休業)」の創設		
1. 知っている		
2. 知らない		
計	0	0%
②雇用環境整備、個別に周知・意向確認の措置の義務化		
1. 知っている		
2. 知らない		
計	0	0%
③育児休業の分割所得(2回まで)		
1. 知っている		
2. 知らない		
計	0	0%
④有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和		
1. 知っている		
2. 知らない		
計	0	0%
⑤育児休業の取得状況の公表の義務付け		
1. 知っている		
2. 知らない		
計	0	0%
⑥子の看護休暇の見直し		
1. 知っている		
2. 知らない		
計	0	0%
⑦所定外労働の制限の対象となる子の範囲の拡大		
1. 知っている		
2. 知らない		
計	0	0%
⑧短時間勤務制度の代替措置の拡大		
1. 知っている		
2. 知らない		
計	0	0%

Ⅱ 「育児休業」「産後パパ育休」の取得について

問2 あなたは「育児休業・産後パパ育休」を取得したことがありますか。【○はひとつ】

1. 取得した		
2. 対象者であったが取得しなかった		
3. 対象になったことがない		
計	0	0%

1. 取得した		
ア. 育児休業の取得		
イ. 産後パパ育休の取得		
ウ. 育児休業と産後パパ育休の両方の取得		
計	0	0%

< 問2で育児休業・産後パパ育休を「1. 取得した」と回答された方のみ >

問2-1 育児休業・産後パパ育休を取得した期間について、1～10のうち該当する番号を1つ選んで記載してください。

①育児休業のみを取得した場合、その期間

1. 5日未満		
2. 5日～2週間未満		
3. 2週間～1か月未満		
4. 1か月～2か月未満		
5. 2か月～3か月未満		
6. 3か月～6か月未満		
7. 6か月～1年未満		
8. 1年		
9. 1年～1年6か月未満		
10. 1年6か月～3年未満		
計	0	0%

②産後パパ育休のみを取得した場合、その期間

1. 5日未満		
2. 5日～2週間未満		
3. 2週間～1か月未満		
4. 1か月～2か月未満		
5. 2か月～3か月未満		
6. 3か月～6か月未満		
7. 6か月～1年未満		
8. 1年		
9. 1年～1年6か月未満		
10. 1年6か月～3年未満		
計	0	0%

③育児休業と産後パパ育休の両方を取得した場合、それぞれの取得期間

ア. 育児休業の期間

1. 5日未満		
2. 5日～2週間未満		
3. 2週間～1か月未満		
4. 1か月～2か月未満		
5. 2か月～3か月未満		
6. 3か月～6か月未満		
7. 6か月～1年未満		
8. 1年		
9. 1年～1年6か月未満		
10. 1年6か月～3年未満		
計	0	0%

イ. 産後パパ育休の期間

1. 5日未満		
2. 5日～2週間未満		
3. 2週間～1か月未満		
4. 1か月～2か月未満		
5. 2か月～3か月未満		
6. 3か月～6か月未満		
7. 6か月～1年未満		
8. 1年		
9. 1年～1年6か月未満		
10. 1年6か月～3年未満		
計	0	0%

問2-2 育児休業・産後パパ育休を分割して取得しましたか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

①育児休業

1. 分割して取得しなかった		
2. 2回に分けて分割して取得した		
計	0	0%

②産後パパ育休

1. 分割して取得しなかった		
2. 2回に分けて分割して取得した		
計	0	0%

問2-3 育児休業・産後パパ育休の間、職場であなたの担当していた仕事を誰が代わりにやっていましたか。【○はいくつでも】

1. 社内の同じ部署内や他部門の社員		
2. 社外から代替要員を補充（派遣労働者、パート・アルバイト）		
3. その他		
4. 代替要員はいない		
計	0	0%

その他： ()

問2-4 父親として育児休業・産後パパ育休を取得してよかったことは何でしたか。【〇はいくつでも】

1. 子供と一緒にいられたこと		
2. 仕事への意欲が高まったこと		
3. 視野が広がるなど自分が成長できたこと		
4. 配偶者から感謝されたこと		
5. 家事がうまくなったこと		
6. その他		
7. 特にない		
計	0	0%

その他: ()

問2-5 父親として育児休業・産後パパ育休を取得したことによるデメリットはありましたか。【〇はいくつでも】

1. 仕事に支障が生じた(仕事が遅れた、上司・同僚に迷惑をかけた)		
2. 育児がうまくいかなかった		
3. 休業中の生活がつまらなかった		
4. 職場での自分に対する評価が下がった		
5. 経済的に困った		
6. その他		
7. 特にない		
計	0	0%

その他: ()

問2-6 育児休業・産後パパ育休からの復職のために、どのようなサポート体制が必要だと思いますか。【〇はいくつでも】

1. 復職のための職場研修の実施		
2. 休業中の業務に関する情報提供		
3. 休業中に自宅でできる教育・訓練		
4. 休業者同士や職場の上司と情報交換できるシステム		
5. 休業中の賃金補償(育休の有給化等)		
6. 短時間勤務制度や始業時間・終業時間の繰上げ・繰下げ等の両立支援制度の情報提供		
7. 相談窓口の整備		
8. その他		
9. 特にない		
計	0	0%

その他: ()

< 問2で育児休業・産後パパ育休の「2.対象者であったが取得しなかった」と回答された方のみ >

問3 育児休業・産後パパ育休を取得しなかった理由について、あてはまるものをすべてお答えください。
【〇はいくつでも】

1. 休む必要がなかった(配偶者が育児休業を取得した、保育園に入れた等)		
2. 仕事の都合がつかなかった(仕事が中断できない、職場に迷惑をかけたくない等)		
3. キャリア形成において不利になるため		
4. 休業中の賃金補償が不十分なため		
5. 有給休暇など、他の休暇で対応できたため		
6. 育児休業がとれることを知らなかったため		
7. 育児や家事ができない又は育児や家事に不安があったため		
8. 相談する人(上司・同僚等)がいなかったため		
9. その他()		
10. 特になし		
計	0	0%
その他: ()		

< すべての方を対象 >

問4 同僚が育児休業・産後パパ育休を取得することについてどのように考えますか。またその理由は何ですか。

1. 積極的に取得したほうがよい 2. できれば取得したほうがよい 3. できれば取得しないほしい 4. 取得しないほしい 計				
		0	0%	
1. 積極的に取得したほうがよい／2. できれば取得したほうがよい ア. 自分も取得する予定・取得したから イ. 必要なことだから ウ. その他 計				
	0	0%		
3. できれば取得しないほしい／4. 取得しないほしい エ. 業務のしわ寄せがくるから オ. 不公平だと思うから カ. その他 計				
	0	0%		
その他: ()				

問5 男性従業員が育児休業・産後パパ育休を取得するにあたり、どのようなことを改善すれば良いと思いますか。【〇はいくつでも】

1. 職場の雰囲気が変わること		
2. 代替要員の確保ができること		
3. キャリア形成において不利にならないこと		
4. 上司の理解が得られ易いこと		
5. 前例(モデル)があること		
6. 男性自身が育児休業を取得する意識をもつこと		
7. 休業中の賃金補償がされること		
8. 社会全体の認識が広がること		
9. 育児休業取得者の周囲の同僚に対する支援があること及び評価が向上すること		
10. その他		
11. 特にない		
計	0	0%
その他:	()	

Ⅲ 企業が行う「育児支援」について

問6 自社が行う育児支援のうち、現実に利用しているもの(利用したことがあるもの)はどれですか。なお、別の企業に勤めていた際に利用した制度は含めないでください。【〇はいくつでも】

1. 短時間勤務制		
2. フレックスタイム制		
3. テレワーク制度(在宅勤務等)		
4. 始業・終業時刻の繰上げ又は繰り下げ		
5. 週・月の所定労働日を減らす(例:週に2～4日働く)		
6. 所定労働時間外労働(残業)の免除		
7. 休日労働の免除		
8. 事業所内託児施設		
9. 育児・看護に要する費用の援助		
10. モバイルワーク又はサテライトオフィス勤務		
11. 時間単位で取得できる看護休暇制度と中抜け利用 (中抜け:就業時間の途中から時間単位の休暇を取得し、就業時間の途中に再び戻ることを指す)		
12. 不妊治療等のための休暇・休業制度		
13. その他		
14. 何も利用していない		
計	0	0%
その他:	()	

問7 自社が行う育児支援のうち、実際は利用していないが、できれば利用したい(利用したことはないが、できれば利用したかった)ものはどれですか。現在、所属している会社にはない制度も含めてお答えください。【〇はいくつでも】

1. 短時間勤務制		
2. フレックスタイム制		
3. テレワーク制度(在宅勤務等)		
4. 始業・終業時刻の繰上げ又は繰り下げ		
5. 週・月の所定労働日を減らす(例:週に2～4日働く)		
6. 所定労働時間外労働(残業)の免除		
7. 休日労働の免除		
8. 事業所内託児施設		
9. 育児・看護に要する費用の援助		
10. モバイルワーク又はサテライトオフィス勤務		
11. 時間単位で取得できる看護休暇制度と中抜け利用 (中抜け:就業時間の途中から時間単位の休暇を取得し、就業時間の途中に再び戻ることを指す)		
12. 不妊治療等のための休暇・休業制度		
13. その他		
14. 何も利用していない		
計	0	0%

その他: ()

問8 育児休業の取得や育児支援制度の利用を推進するために、自社で実施してほしいことはどれですか。【〇はいくつでも】

1. 社内制度の周知		
2. 上司等からの対象者への制度利用希望の聴取や積極的な働きかけ		
3. 社内研修等による制度利用に対する職場の理解の促進		
4. 社内研修等による上司の理解の促進		
5. 育児休業の経験者からの体験談や取得事例の紹介		
6. 代替要員の確保		
7. 制度利用時の賃金補償		
8. 育児休業取得者の周囲の同僚への協力補償や評価の向上		
9. 育児休業取得者へのキャリア形成の不安払拭		
10. その他		
11. 特にない		
計	0	0%

その他: ()

問9 男性の育児休業等を社内で推進するにあたり、要望等があれば記載してください。(自由記載)